

ひよこ組

クラスだより

今月の目標



- ・寒い時期を健康で快適に過ごす。
- ・自分のペースでじっくりと物と関わって楽しむ。

あけましておめでとうございます
昨年に引き続き子どもたちの成長から目が離せませんね。今年もよろしくお祈いします。

11月下旬には下痢で12月には鼻水や咳などの風邪で欠席・早退する子が多く12月は室内で遊んで過ごす日が多くありました。そんな中りすぐみの保育室で遊ばせてもらいました。ミニキッチンや室内すべり台はひよこぐみには無く人気の遊び道具となりました。目新しい玩具を持って友達と同じ椅子に座り微笑みあったりしながらひよこぐみ以外の保育室でも楽しく過ごした12月でした。



<犬を見に散歩に出掛けよう！>

11月頃から「ワンワン」「ニャンニャン」などの片言を話すことが多くなってきました。そこで実際に犬を見に行く事にしました。

犬を見る為いつもと違うコースに行こうとした保育士に月齢の大きい子はいつも行く方を指差して「アー！アー！（あっちだよ！）」と知らせてくれました。保育士が「今日はワンワン！犬を見に行くからこっちだよ！」と声を掛けると不思議そうにしていました。まだ生まれて1年半でもちゃんといつもの道が分かるってすごいですね。

そしてお目当ての犬を見ましたが怖い声で吠えられてしまいました。子どもたちは泣くどころか同じように低く怖そうな声で「ウ～ワンワン！」と言い返して犬に応戦し始めました。実際に見てみる影響の大きさを改めて感じた瞬間でした。実体験は大切ですね。



りす組

今月の目標

- ・異年齢での遊びや生活を楽しむ。
- ・身のまわりの事を自分でしてみる。

冷たい風が吹き、寒い冬がやってきましたが、りす組のみんなは元気にお散歩へ出掛けています。先日は、ひよこ組の子と一緒に散歩へ出掛け交流しました。ひよこ組の子に対してりす組の子は、水たまりがあると「入ったらあかんよ」と声を掛けたり、ころんでしまった子に「大丈夫？」と優しく声を掛け、汚れた服をはらってあげたりと、すっかりお兄ちゃん・お姉ちゃんとなっていました。又、ひよこ組の子は、りす組の子がする事に刺激を受けて、色々なことを真似して、その姿はとてもかわいらしく感じました。自分が大人や、年上の子からしてもらっている事を、自然と今度は、自分達より小さい子に伝承していくのですね。

室内遊びでは、コーナー遊びの中に、洗濯バサミをダンボールに挟む、指先を使った遊びを取り入れています。昨年の運動会の競技でした、お洗濯ごっこの延長で始めましたが、最初は、挟み方が分からなかったり、指先に力がいらず、保育士と一緒に握って感覚をつかんでいましたが、自分で出来るようになると「こんなにいっぱい出来たよ」と得意げに見せてくれたり、友達同士で「こうやってするんやに」と教えあう姿もみられます。この時期の年齢・発達にあった遊びで、みんな集中して取り組み、出来るようになった喜びが伝わってきます。こうした喜びを、保育士や友達とこれからも共感していきたいと思ひます。



おゆうぎ会に向けて、期待ややる気を持ちながら生活する。

- * 12月は、5日におもちつき、11日に椿神社へCーバスを利用してお出かけ、25日のクリスマス会と楽しいことがたくさんありました。そんな楽しい事へ参加する子どもたちの姿を見ると、ひとりひとりの成長を感じます。部屋で、参加するにあたって、気をつけたり守って欲しいことを伝え、周りの様子や友だちの動きをみて自分なりに動いたり、教えあう姿が増えてきているからです。日頃から集まりの時に大事な話をすると、しっかり聴こうと耳を傾けてくれます。内容もしっかり理解していてびっくりすることもあります。(子どもたちの姿を見ていて、話を聴こうと“耳も心も傾けること”の大切さを改めて考えさせられました。) また、ひとりひとりの自由な活動の時と、集団でのルールのある活動の時との違いを子どもたちなりに感じ、クラスみんなでの集団遊びを楽しめるようになってきました。はじめは、輪の中になかなか入れなかった子も、気持ちだけはみんなと一緒にだったので回を重ねていくうちに自然に入ることができました。今は、『あわぶくたった』がみんなの好きな遊びのひとつです。「とんとんとん」「なんのおと？」の繰り返しと、お化けの登場が楽しみなようです。言葉のやりとりだけで楽しんでいる時もあるほどです。遊びや歌、行事など昔から伝わるものも大事にしていきたいですね。
- * うさぎぐみがスタートして9ヶ月が経ちました。4月の頃が懐かしく感じることもあります。出来なかったことが出来るようになったりと子どもたちの成長には驚くことばかりですが、来年度に向けて生活面等の負担のないように、うさぎぐみでは見直しをし、伝えていきたいと思っています。保護者の方をお願いする事も多々ある事と思いますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。





友だちと一緒に正月遊びやルールのある遊びを楽しむ。
絵本や物語に親しみイメージを持って表現する事を楽しむ。

3 歳児

寒くなってきましたが子どもたちに「外に行こう」と言うと「やった！」と走って外に向かいます。外遊びでは年長さんがしている大縄に挑戦する子が増えてきました。始めは見てだけの参加から始まり、「してみたいな…でもできやんもん」と思っていた子もまずは簡単な両足をそろえてジャンプ、へび縄と一つひとつこなしていく事で縄跳びへの興味が持てるようになっていくと子どもたちの方から「回して！」と言ってくれるようになりました。今では44回跳べるようになった子もいます…大きい子たちも顔負けです！一回して失敗したらやめてしまうのではなく何度も挑戦し続ける姿に回している私も力が入ってしまいます。何度も挑戦してできた達成感や自信を味わってほしいと思います。



今お部屋ではお遊戯会に向け劇遊びやダンスの練習をしています。劇では大きい子達に混ざってセリフを言ったり、動作をつけたりと恥ずかしそうにしていますが皆の前で表現する楽しさを味わっているようです。またもうセリフを覚えている子もいてお家でセリフを言っている子も多いと思います。本番まで楽しく取り組めたらいいなと思います。

°ジャンパーのチャックができるようになった子が増えてきました。できるようになるとお友達のを手伝ってくれたり「こうするんやに」と教えてくれる子もいます。優しい子どもたちです。



4 歳児

12月に入りまた一段と寒くなってきましたが、子どもたちは寒さに負けず元気いっぱい遊ぶ姿がみられます。午睡がなくなりおうちに帰ると疲れてしまう子もいるようですが、やっぱり思いきり遊べるのが嬉しいようです。先日、午後からの時間を使い年中さんだけで散歩にでかけました。行き先は長瀬神社だよ！と子どもたちに伝えると聞いたことがない場所だけに子どもたちもワクワクしているようでした。初めての場所、長い距離ともあって大丈夫かなと心配していましたが、そんな私たちの心配をよそに子どもたちは楽しみでしょうがない様子でした。長瀬神社でも元気に遊ぶ子どもたち。帰るころには疲れた～！と言う子もいましたが頑張って最後まで皆が歩いて帰ってくることができました。帰ってから子どもたちから「楽しかった！」という声があり、年少・年長さんたちにも散歩に行ったことを楽しそうに話す姿がありました。そんな姿を見ると私も行ってよかったですと感じました。またこれからもどンドンいろんなところに出掛けていきたいです。

今お部屋ではお遊戯会に向け、劇やダンスの練習に取り組んでいます。とくに劇の「とんとんとめてくださいな」では絵本をおうちで読んでもらっている子も多く、セリフもすぐに覚えてしまう子もいます。でもいざ役になると、恥ずかしがる子もいて声が小さくなってしまふこともあります。役になれるのが楽しいようです。これからもお遊戯会に向け楽しく取り組んでいけたらと思います。





友達と一緒に表現する楽しさを味わう。
冬の自然に興味を持ち、戸外で思いきり体を動かして遊ぶことを楽しむ。

3歳児

12月に入り、子どもたちはお遊戯会での劇「大きなかぶ」の劇遊びを楽しんで取り組んでいます。いつも「おじいさんの役やりたい子！」「・・・などと順番にそれぞれの役を聞いていくのですが、「やりたい！！」とたくさんの子が積極的に手を挙げ、興味津々であるのがその様子からも伝わってきて嬉しく思います。皆の前に出ると少し緊張したり恥ずかしがったりする姿もありますが、年長・年中さんとともに「せーの！」と声を掛け合ってセリフを合わせて言う事を意識しながら取り組んでいる姿も見られるようになりました。また、繰り返し劇遊びをする事により子どもたちも役のセリフや動きを覚えてきているようで劇の流れをきちんと見ながら「自分の番だ！」と自分たちで気付き動いている子もいます。やってみようとする意欲を大切にしながら、これからもお遊戯会に向けて楽しんで取り組んでいってほしいと思います。

寒くなり上着を着てくる子が多くなりましたが、子どもたちはチャックの開け閉めがだいぶできるようになりました。初めのころは「できやん」「難しい」と言っていた子も何度も練習する事により少しずつできるようになりました。今では、友達が上着のチャックで困っている時は手伝う姿も見られるようになりました。自分でできる喜びや自信をこれからもいっぱい味わってほしいと思います。



4歳児

今月はお遊戯会に向けて少しずつクラスで取り組んできました。劇では子どもたちが楽しめるように、まずは劇遊びから始めました。劇は「大きなかぶ」です。毎日繰り返してやっていくうちに、子どもたちもセリフや出てくるタイミングなど覚え始めています。特に、年齢別の日の劇遊びになると、年中児と一緒にする年少児に「せーの！！」と率先してセリフを合わせようとしてくれたり、「次は向こうにいくんだよ！」と教えてあげたりと、子どもたちなりに考えて取り組んでいることがわかります。劇やダンスは周りを見ながら、動きを合わせることも、また劇ではセリフを合わせることもなど、とても難しいことだと思います。しかし、練習をするなかで子どもたちには、いろんなことを学んで考えて劇やダンスに取り組んでほしいと思います。

12月に入り、午後の年中だけの活動では散歩に出かけたり、お遊戯会に向けて歌の練習をしています。

この前は「長瀬神社」にお散歩に出かけました。長瀬神社は長距離で大丈夫かな・・・とは思いましたが、歩きながらいろんな発見ができ、長い道のりもあっという間でした。散歩中には、畑に大きなヘチマがなっているのを見つけると子どもたちは「あっ！おっきいキュウリがなっとるよー！」という声が聞こえたり、畑仕事をしている地域の方を見ると大きな声で「こんにちは！！」と挨拶をしたり・・・とてもほのぼのとした光景でした。

今後も子どもたちと楽しい時間を過ごし、たくさんの思い出作りをしていきたいと思っています。



ライオン組

今月の目標



- ・ 話すことに自信をもち、人の話も聞こうとする。
- ・ 自分なりの目標に向かって取り組み、やり遂げた満足感や喜びを味わう。

先日絵画指導があり、干支の「丑」を紙版画で作ることにしました。丑の絵や写真を見て紙にデザインを書き、それを持ってきた厚紙に写してから版画で印刷する時に形がきちんと出るように丑をパーツごとに切って重ねて貼り付けるということをしました。一斉にやるのでどんどん進めていく子となかなか書けなかったり、デザインが決まらないで手を止めている子と様々でしたが、自分の作品が出来、絵の具を付け形ができるととても嬉しそうでした。時間をかけてでも丁寧に自分の力でやってみる、話を聞き理解してやってみようとするのが大切だと思いました。



5日のおもちつきでは、年長児だけ子ども用の杵を持っておもちをつきました。年長児になったら自分たちでつけるということを知っているのでとても楽しみにしていました。実際についてみると、見ている時は簡単そうに見えても真ん中のおもちにつくことは難しく苦戦していました。今は家でおもちをつくということはなくなりつつありますが昔ならではのやり方を伝承してもらうこと、又地域のおじいちゃん、おばあちゃんに教えてもらったりしながらするということの関わりは大切だと感じました。

トトロ組がお店やさんをしていることからピノキオ組も自分たちでお金を作ってお買い物ごっこを楽しみました。一人500円ですがほしいものをどうやって買うか、お金をうまく使うことを考えながら買い物を楽しむ姿が見られました。簡単なたし算、ひき算もできるようになってきているので遊びの中で学んでいけたらと思います。たくさんの社会勉強を遊びの中で体験することで身につけていけばいいなと思っています。

